

広域医療の取組



関西広域連合・広域医療局

基本理念 「安全・安心の“4次医療圏・関西”」の実現

将来像 「医療における安全・安心ネットワーク」が確立された関西



I 広域救急医療体制の充実 ～いつでも、どこでも安心医療「関西」～

- ドクターヘリによる広域救急医療連携の推進
- 周産期医療連携体制の充実
- など

II 災害時における広域医療体制の強化 ～「災害時の死者ゼロを目指す」しっかり医療「関西」～

- 感染症対策に係る広域連携の推進(新型コロナウイルス対策)
- 災害医療人材の養成・連携
- 広域的な災害医療訓練の実施
- 災害時におけるドクターヘリの効果的な運航体制の確保
- など

III 課題解決に向けた広域医療体制の構築 ～ひろがる安心医療ネットワーク「関西」～

- 依存症対策の充実
- 薬物乱用防止対策
- 医療分野におけるSociety5.0の推進
- など

I 広域救急医療体制の充実

(1)ドクターヘリの共同運航

計7機のドクターヘリによる一体的な運航体制を構築し、安全安心の「4次医療圏・関西」を実現。

広域連合設立時(H22.12)

3機 和歌山県ヘリ
大阪府ヘリ
3府県ヘリ

広域連合への事業移管・一体的運用により

+4機 徳島県ヘリ・兵庫県ヘリ・京滋ヘリ・鳥取県ヘリ

計7機体制を実現→4次医療圏関西の構築！
関西全体で**30分以内での救急医療提供体制**を実現

運航実績 (H24) 1,927件 → (H29) 4,333件 → (R4) 4,510件

鳥取県ドクターヘリ
“KANSAI・おしどり”
@鳥取大学医学部附属病院



兵庫県ドクターヘリ
“KANSAI・はばタン”
@兵庫県立加古川医療センター
(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)



徳島県ドクターヘリ
“KANSAI・藍バード”
@徳島県立中央病院



和歌山県ドクターヘリ
@和歌山県立医科大学附属病院



3府県ドクターヘリ
“KANSAI・こうのとり”
@公立豊岡病院



京滋ドクターヘリ
“KANSAI・ゆりかもめ”
@済生会滋賀県病院



大阪府ドクターヘリ
“KANSAI・もず”
@大阪大学医学部附属病院



I 広域救急医療体制の充実

(2) 近隣地域のドクターヘリとの連携促進による「空の連携」の強化

年月	連携地域	内容
H26.7	高知県	徳島県・高知県の間で相互応援を開始
H28.4	三重県	和歌山県・三重県の間で相互応援を開始
H29.6	中国地方5県	鳥取県を含む中国地方5県との間で 広域連携協定を締結し、相互応援を開始
H30.7	愛媛県	徳島県・高知県の協定に愛媛県も加わる
H30.9	福井県	京滋ヘリが福井県嶺南地域へ運航開始
H31.1	奈良県	和歌山県・三重県の協定に奈良県も加わる
R4.5	福井県	福井県ヘリが滋賀県湖北地域へ運航開始し 滋賀県・福井県の間で相互応援を開始
R5.7	香川県	徳島県・高知県・愛媛県の協定に香川県も加わる

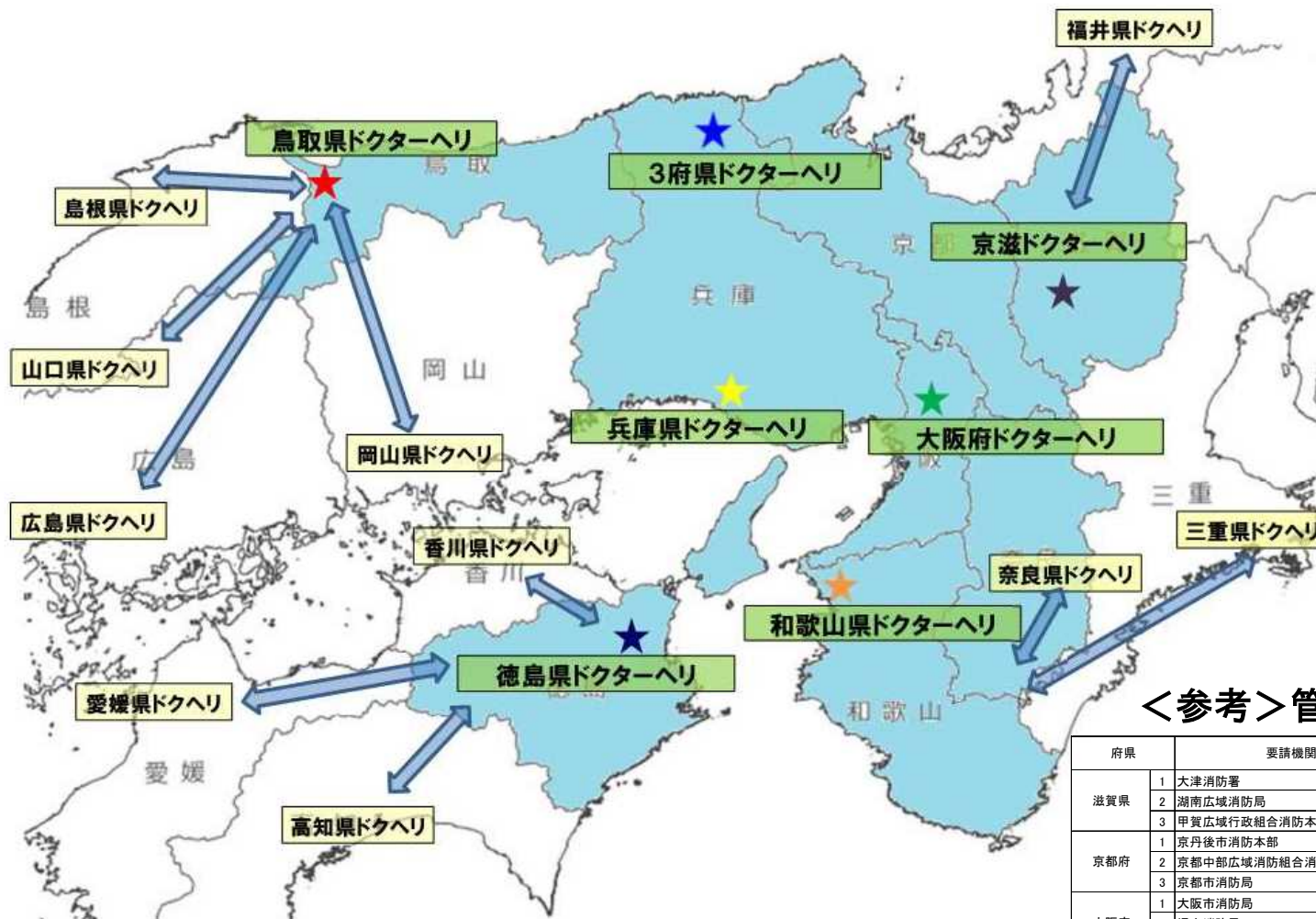


隣接する「10県」と相互応援体制を構築

➡ 複数機のドクターヘリが補完し合う、「二重・三重のセーフティネット」の拡大や
広域連合のドクターヘリの更なる有効活用を図るため、近隣地域との連携を推進。

I 広域救急医療体制の充実

※ドクターヘリ「二重・三重のセーフティネット」のイメージ図



○管内全エリアで、
複数のヘリが相互に補完

<参考>管内ドクターヘリ要請順位(一部抜粋)

府県	要請機関名	管轄区域	平時の要請順位		
			1	2	3
滋賀県	1 大津消防署	大津市	京滋DH	大阪DH	
	2 湖南広域消防局	草津市、守山市、栗東市、野洲市	京滋DH	大阪DH	
	3 甲賀広域行政組合消防本部	甲賀市、湖南市	京滋DH	大阪DH	
京都府	1 京丹後市消防本部	京丹後市	3府県DH	大阪DH	
	2 京都市消防局	京都市	大阪DH	京滋DH	3府県DH
	3 京都市消防局	京都市	大阪DH	大阪DH	
大阪府	1 大阪市消防局	大阪市	大阪DH	和歌山DH	
	2 堺市消防局	堺市、高石市	大阪DH	和歌山DH	
	3 岸和田市消防本部	岸和田市	大阪DH	和歌山DH	
兵庫県	1 美方広域消防事務組合消防本部	香美町、新温泉町	3府県DH	鳥取DH	
	2 丹波市消防本部	丹波市	3府県DH	兵庫DH	※消防防災ヘリ
	3 淡路広域消防事務組合消防本部	淡路市、洲本市、南あわじ市	徳島DH	兵庫DH	※消防防災ヘリ
和歌山県	1 和歌山市消防局	和歌山市	和歌山DH	大阪DH	徳島DH
	2 御坊市消防本部	御坊市	和歌山DH	徳島DH	
	3 串本町消防本部	串本町、古座川町	和歌山DH	三重DH	
鳥取県	1 鳥取県東部広域行政組合消防局	鳥取市、岩美町、智頭町、若桜町、八頭町	3府県DH	鳥取DH	
	2 鳥取県中部ふるさと広域連合消防局	倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町	鳥取DH	3府県DH or 鳥根DH	
	3 鳥取県西部広域行政組合消防局	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町	鳥取DH	鳥取DH	3府県DH
徳島県	1 徳島市消防局	徳島市	徳島DH	香川DH	和歌山DH
	2 鳴門市消防本部	鳴門市	徳島DH	香川DH	和歌山DH
	3 みよし広域連合消防本部	三好市、東みよし町	徳島DH	高知DH	香川DH

「連合管内ドクターヘリ要請順位」の一部抜粋

※ドクターヘリの運用の防災ヘリ

I 広域救急医療体制の充実

(3)ドクターヘリ基地病院間の連携・相互交流による「陸の連携」の深化

各基地病院の情報共有や人材育成、平時及び災害時の連携を強化し、ドクターヘリスタッフによる「顔の見える関係づくり(陸の連携)」を深化。

【ドクターヘリ関係者会議】

開催日: 令和5年1月17日(オンライン開催)

参加者: 各基地病院の救命救急センター長、行政職員 等

議 題: 広域医療の取組について

ドクターヘリ基地病院交流・連絡会について

(4)周産期医療連携体制の充実

自府県内で周産期の緊急医療に対応可能な医療機関が確保できない場合に、各府県に設置された「広域搬送調整拠点病院」が連携し、他府県での受け入れについて、調整を行っている。

【近畿ブロック周産期医療広域連携検討会】

開催日: 令和5年2月10日(オンライン開催)

参加者: 広域搬送調整拠点病院関係者、行政職員

議 題: コロナ陽性妊婦の受入れ医療機関及び入院調整等について

災害時小児周産期リエゾンとの連携について

Ⅱ 災害時における広域医療体制の強化

(1) 災害医療人材の養成・連携

「災害医療コーディネーター」の役割や業務についての共通理解を図るとともに、「顔の見える関係」を築くため、合同研修会(災害医療セミナー)を実施。

【災害医療セミナー】

開催日: 令和5年3月28日(火)(オンライン開催)

参加者: 災害医療コーディネーター、医療関係者、行政職員

講演: 「COVID-19これまでとこれから」

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志 氏

【管内災害医療コーディネーター数】

(R1) 436人 → (R5) 570人

**令和4年度 関西広域連合
災害医療セミナー**

とき 令和5年3月28日(火) 19:00~20:00
※開場は18時30分に行います。

ところ オンライン開催(Zoomウェビナー)

プログラム

1. 広域医療局挨拶
2. 講演内容

講演: 「COVID-19 これまでとこれから」

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学
教授 忽那 賢志 氏

申し込み

申込方法: 専用申込フォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/9Qev5vur7op2qUoC7>

申込期限: 令和5年3月22日(水) 17:00まで

注意事項: 入力いただいたメールアドレスに招待メールを送信いたします。
iryouseisakuka@pref.tokushima.jpから送信しますので、
迷惑メール対策されている場合は受信設定を御確認ください。

主催 関西広域連合

〈問い合わせ〉
関西広域連合広域医療局
TEL 088-621-2188 FAX 088-621-2898
MAIL iryouseisakuka@pref.tokushima.jp

(2) 広域的な災害医療訓練の実施

災害時の情報収集能力の向上及び構成団体の連携強化により、「災害対応力の強化」を図るため、衛星携帯電話やEMIS(広域災害救急医療情報システム)による「情報伝達訓練」を実施。

また、広域連合管内のDMATが内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練に参加し、災害対応の幅広い知見を得るとともに、関係機関との連携を深めた。

【情報伝達訓練】

実施日: 令和5年2月20日

参加者: 7府県の災害医療担当者

【大規模地震時医療活動訓練】

実施日: 令和4年10月1日

参加者: 管内DMAT 61チーム

Ⅱ 災害時における広域医療体制の強化

(3) 災害時におけるドクターヘリの効果的な運航体制の確保

大規模災害時には、連合管内のドクターヘリが連携し、管内の救急医療体制を可能な限り確保しつつ、災害規模に応じた被災地支援を行う。

○応援・受援体制の基本的な方向性

- ・隣接する2機のドクターヘリをペア(※)として考え、一方のドクターヘリを被災地へ派遣した場合には、もう一方が管内をカバーすることを想定。
(※ 京滋-大阪、3府県-鳥取、奈良-和歌山、兵庫-徳島)

◇熊本地震(H28.4.16)

- ・DMAT事務局からの要請により、九州に近い西側3機(3府県・兵庫県・徳島県)を被災地に派遣
- ・管内に残った東側3機(京滋・大阪府・和歌山県)により管内全域をカバー

◇大阪府北部地震(H30.6.18)

- ・発災3時間後には大阪府からの依頼を受け、5機(京滋・大阪府・兵庫県・徳島県・奈良県)に出動待機を要請
- ・そのうち2機(大阪府・兵庫県)が出動し、計3名の患者を搬送



▼熊本県民総合運動公園
(ドクターヘリが集結)

Ⅱ 災害時における広域医療体制の強化

(4) CBRNE災害への備え

「2025年大阪・関西万博」や「ワールドマスタースゲームズ2027関西JAPAN」などによる国内外の交流活性化を見据え、テロ攻撃などの「特殊災害」への知見を高める研修を実施。

※CBRNE災害

Chemical(化学物質) Biological(生物) Radiological(放射性物質)
Nuclear(核) Explosive(爆発物)

【CBRNE災害対策セミナー】

開催日：令和4年12月26日(オンライン開催)

参加者：医療関係者、行政職員

講演：①「CBRNE災害対策-総論-」

東京医科歯科大学 救命救急センター長 大友 康裕 氏

②「爆発物の脅威 ～E事態における医療対応～」

防衛医科大学校 防衛医学研究センター
外傷研究部門 講師 関根 康雅 氏

③「化学・生物テロ対策」

防衛医科大学校 免疫・微生物学講座 教授 木下 学 氏

**関西広域連合
CBRNE災害対策セミナー**

とき 12月26日(月) 19:00～20:30(開場18:30)

ところ オンライン開催(Zoomウェビナー)

プログラム

1. 広域医療局挨拶
2. 「CBRNE災害対策-総論-」
東京医科歯科大学
救命救急センター長 大友 康裕氏
3. 「爆発物の脅威 ～E事態における医療対応～」
防衛医科大学校 防衛医学研究センター
外傷研究部門 講師 関根 康雅氏
4. 「化学・生物テロ対策」
防衛医科大学校
免疫・微生物学講座 教授 木下 学氏

申し込み

申込方法：専用申込フォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/GJpPcN8BghJdyL9>

申込期限：令和4年12月16日(金) 17:00まで

注意事項：入力いただいたメールアドレスに招待メールを送信いたします。
inuseisaku@pref.tokushima.jpから送信しますので、迷惑メール対策されている場合は受信設定を確認してください。

主催 関西広域連合

(問い合わせ)
関西広域連合広域医療局
TEL 086-433-2181 FAX 086-432-1999
MAIL shirayama@pref.tokushima.jp

参加無料
定員400名
事前申込制(先着順)

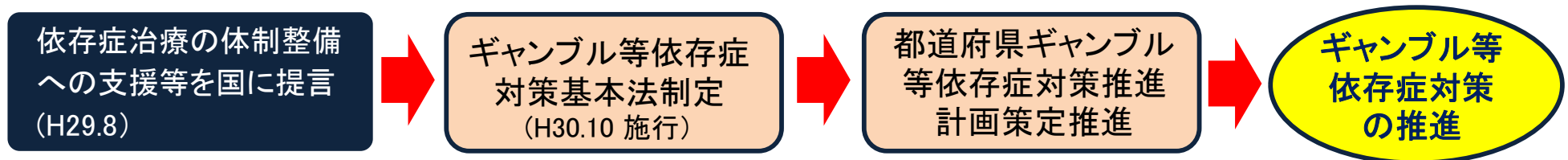
Ⅲ 課題解決に向けた広域医療体制の構築

(1) 依存症対策の連携

アルコール・薬物・ギャンブル依存症対策に関して、普及啓発や相談体制、人材育成等の取組を情報共有し、各府県市における依存症対策を推進。

■ギャンブル等依存症対策

・「IR推進法」の成立(H28.12)を受け、依存症に対する抑止力、予防策を推進。



※管内における都道府県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定状況
(京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県の6府県が策定)

(2) ジェネリック医薬品の普及促進

ジェネリック医薬品の使用率向上のため、課題や取組の情報共有を行い、普及促進に取り組む。

【ジェネリック医薬品使用推進実務担当者会・研修会】

開催日：令和4年8月31日、令和4年12月20日(オンライン開催)

参加者：行政職員、厚生労働省

内 容：ジェネリック医薬品使用促進に向け、効果的な取組等の共有・意見交換
後発医薬品の品質確保や安定供給に関する知識習得

Ⅲ 課題解決に向けた広域医療体制の構築

(5) 子どもの事故防止の啓発

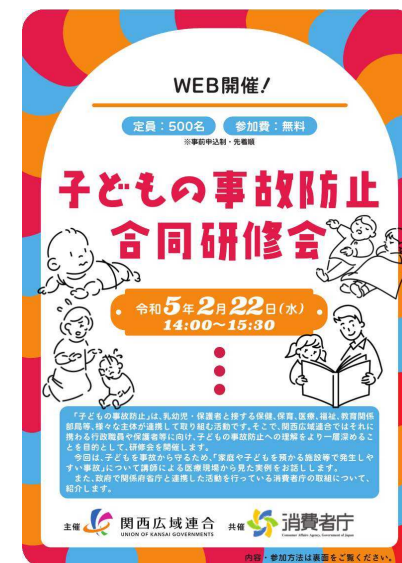
子どもの死因の上位を占める「不慮の事故」を可能な限り防止するため、消費者庁と連携した合同研修会を開催し、関西全体での取組を促進。

【子どもの事故防止合同研修会】

開催日：令和5年2月22日（オンライン開催）

参加者：保育関係者、行政職員 等

内 容：「事故から子どもの命と健康を守る」 徳島県医師会 田山 正伸 氏
「事故防止に向けた取組」 消費者庁担当者



新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 新型コロナウイルス感染症対策本部

○令和2年3月に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置。
以降、計43回の会議を開催し、
関西で一体となった感染拡大防止対策を実施。



5類移行に伴い、
令和5年5月8日付で、
同本部を「対策準備室」へ移行。

【知見の共有】

- ・関西圏域における「感染状況」や構成府県市における「対応・対策」の情報共有を行うとともに、意見交換を実施し、ノウハウを共有。

【統一メッセージの発出】

- ・広域防災局と連携し、府県市民に向け、感染防止対策の徹底等の呼びかけを実施(夏休みを控えた令和5年7月にも発出)。

【国への提案】

- ・感染再拡大に備えた実効性ある対策に関する提言(令和4年4月)
- ・新型コロナウイルス第8波・季節性インフルエンザ同時流行対策の充実強化に向けた提言(令和4年11月)
- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの見直しにおける高齢者の命と健康を守り抜くための提言(令和5年2月)

夏休み 健康生活宣言 (関西府県市民の皆様へのお願い)

令和5年7月20日

府県市民の皆様の日々の感染対策への取組に感謝いたします。
これから夏休みやお盆の季節を迎えますが、現在新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大傾向にあります。このため、日常における皆さんの自主的な感染対策の取組が引き続き重要です。感染対策を行い、この夏を楽しく、健康に過ごしていただくようお願いします。

新型コロナの特徴を踏まえた自主的な感染対策を

- 基本的な感染対策として、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用などが有効です。なお、マスク着用の際には、熱中症に十分ご注意ください。
- 帰省・お祭り・レジャー等で祖父母などの高齢の方と会われる場合や大人数で集まる場合は、感染予防を心がけ、体調を整えるようにしましょう。
- 発熱などの体調不良時に備え、自己検査キットや解熱鎮痛薬等を備蓄しておきましょう。

重症化リスクの高い方の感染を防ぐ取組を

- 医療機関や高齢者施設などでマスク着用のルールがある場合には、それに従いましょう。
- 高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、混雑した場所、近接した会話を避けていただくことが感染予防対策として有効(避けられない場合はマスク着用が有効)です。
- 重症化リスクの高い高齢の方などは、オミクロン株対応2価ワクチンの接種をご検討ください。

適切な受診行動を

- 受診にあたっては、あらかじめかかりつけ医や対応医療機関等に連絡した上で、適切に受診しましょう。
- かかりつけ医が無いなど、相談先に迷う場合は、自治体が設置する受診相談センター等をご活用ください。

(2) 取組の検証

- 広域防災局と連携し、管内の大学教授等の有識者で構成する感染症対策の専門部会を開催。
- これまでの対応の「成果や課題」について整理するとともに、発生が懸念される新興・再興感染症を見据えた「今後の方向性」について検討中。